

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月27日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 テセック  
 コード番号 6337 URL <http://www.tesec.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越丸 誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 矢崎 七三  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

TEL 042-566-1111

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	3,822	—	△613	—	△499	—	△1,194	—
20年3月期第3四半期	4,936	△6.8	640	△36.7	755	△29.3	464	△43.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△211.50	—
20年3月期第3四半期	82.20	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
21年3月期第3四半期	12,731	2,078.41	11,741	2,078.41	92.2	2,078.41
20年3月期	14,960	2,362.28	13,345	2,362.28	89.2	2,362.28

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 11,741百万円 20年3月期 13,345百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,350	△36.0	△1,350	—	△1,200	—	△2,000	—	△354.04

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 有  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期 5,778,695株	20年3月期 5,778,695株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期 129,605株	20年3月期 129,384株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期 5,649,136株	20年3月期第3四半期 5,649,335株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成20年10月28日に公表いたしました連結業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。詳細は平成21年1月27日に別途公表いたしました「業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
- 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における世界経済は、米国発の金融危機に端を発して実体経済の世界的な後退が鮮明となりました。半導体業界においても、デジタル家電、携帯機器などの消費伸び悩みによる需要の落ち込みにより、市況は一段と悪化しました。半導体メーカーは、市況の低迷を受け投資計画を凍結、延期するなど投資抑制を一層強め、製造装置は厳しい受注環境が続きました。

このような状況の中で、7月に横河電機株式会社より譲り受けたICハンドラ部門の業容拡大を図りましたが、主要市場である中国、台湾などアジア市場を含め国内外市場において、主力製品であるハンドラ、テストの受注が大幅に減少しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高31億89百万円（前年同期比38.8%減）、売上高38億22百万円（同22.6%減）となりました。製品別売上高はハンドラ18億81百万円（同25.1%減）、テスト10億60百万円（同33.2%減）、パーツ等8億80百万円（同5.4%増）となりました。

損益面は、第3四半期において売上高が損益分岐点を大幅に下回ったこと、研究開発費の負担が増加したことなどにより、営業損失は6億13百万円（前年同期は営業利益6億40百万円）、経常損失は4億99百万円（同経常利益7億55百万円）となりました。四半期純損失は、投資有価証券評価損の計上、繰延税金資産の取り崩しなどにより、11億94百万円（同四半期純利益4億64百万円）となりました。

※当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。したがって、当第3四半期連結累計期間の連結損益計算書と前年同期の連結損益計算書とは作成基準が異なるため、前年同期比較に関する情報は参考として記載しております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 財政状態

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、売掛金および有価証券の減少などにより流動資産が20億70百万円減少し、ICハンドラ事業譲受に伴い有形固定資産および無形固定資産が増加しましたが投資有価証券の減少などにより固定資産も1億59百万円減少したことから、前連結会計年度末に比べ22億29百万円減少し、127億31百万円となりました。

負債は、未払法人税等の減少により流動負債が5億87百万円減少し、長期未払金の減少などにより固定負債も37百万円減少したことから、前連結会計年度末に比べ6億25百万円減少し、9億89百万円となりました。

純資産は、四半期純損失11億94百万円の計上および配当金の支払などにより、前連結会計年度末に比べ16億4百万円減少し、117億41百万円となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、下記の各キャッシュ・フローによる増減により、前連結会計年度末に比べ10億19百万円減少し、21億19百万円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3億18百万円のマイナスとなりました。これは主に、売上債権の回収によるプラスを、税金等調整前四半期純損失の計上および法人税等の支払によるマイナスが上回ったことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億39百万円のマイナスとなりました。これは主に、有価証券の売却・償還によるプラスを、横河電機株式会社よりICハンドラ事業を譲り受けたことに伴うマイナス（営業譲受による支出）が上回ったことによるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億26百万円のマイナスとなりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、世界的な半導体不況の長期化が予想され、新規設備投資の回復の兆しが見えないことから、製造装置需要の低迷が当面続くものと予想されます。

第3四半期決算の業績および今後の業界動向などを踏まえて、平成20年10月28日に公表しました平成21年3月期の通期業績予想（連結・個別）を下方修正いたしました。

詳細は平成21年1月27日に別途公表しました「業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
- ① 当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸等を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。
  - ② 法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
- ① 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
  - ② 当第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。  
なお、これによる損益への影響は軽微であります。
  - ③ 当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。  
なお、これによる損益への影響は軽微であります。
  - ④ 当第1四半期連結会計期間より、機械及び装置の耐用年数については法人税法の改正を契機として見直しを行い、一部の資産について耐用年数を変更して減価償却費を算定する方法に変更しております。  
なお、これによる損益への影響は軽微であります。
  - ⑤ 当第1四半期連結会計期間より、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号）を早期適用しております。リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。  
なお、これによる損益への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,000	2,508
受取手形及び売掛金	1,509	2,434
有価証券	839	1,959
製品	172	218
原材料	545	301
仕掛品	926	738
繰延税金資産	9	159
未収消費税等	109	60
未収還付法人税等	216	9
その他	63	70
貸倒引当金	△11	△8
流動資産合計	6,381	8,452
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,619	2,622
減価償却累計額	△1,774	△1,886
建物及び構築物（純額）	844	736
機械装置及び運搬具	307	308
減価償却累計額	△269	△264
機械装置及び運搬具（純額）	37	44
工具、器具及び備品	960	850
減価償却累計額	△768	△742
工具、器具及び備品（純額）	192	107
土地	2,091	2,092
有形固定資産合計	3,166	2,980
無形固定資産		
のれん	224	—
その他	123	16
無形固定資産合計	348	16
投資その他の資産		
投資有価証券	2,718	3,393
保険積立金	89	62
繰延税金資産	0	34
その他	32	26
貸倒引当金	△5	△4
投資その他の資産合計	2,834	3,512
固定資産合計	6,349	6,508
資産合計	12,731	14,960

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	79	136
未払金	82	101
未払法人税等	20	403
未払費用	144	135
賞与引当金	60	196
製品保証引当金	6	17
その他	73	62
流動負債合計	465	1,053
固定負債		
退職給付引当金	278	215
長期未払金	98	160
繰延税金負債	14	16
負ののれん	132	169
固定負債合計	523	561
負債合計	989	1,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,521	2,521
資本剰余金	3,370	3,370
利益剰余金	6,246	7,668
自己株式	△201	△201
株主資本合計	11,936	13,359
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	60	160
為替換算調整勘定	△255	△174
評価・換算差額等合計	△195	△13
少数株主持分	0	0
純資産合計	11,741	13,345
負債純資産合計	12,731	14,960

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	3,822
売上原価	2,874
売上総利益	947
販売費及び一般管理費	
販売手数料	67
荷造運搬費	34
役員報酬	105
給料手当及び賞与	354
法定福利費	35
賞与引当金繰入額	15
減価償却費	19
のれん償却額	25
研究開発費	543
貸倒引当金繰入額	4
その他	355
販売費及び一般管理費合計	1,561
営業損失(△)	△613
営業外収益	
受取利息	65
受取配当金	29
負ののれん償却額	37
その他	8
営業外収益合計	140
営業外費用	
為替差損	20
その他	5
営業外費用合計	26
経常損失(△)	△499
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1
特別利益合計	1
特別損失	
関係会社整理損	13
投資有価証券評価損	422
投資有価証券売却損	9
固定資産売却損	0
固定資産除却損	12
ゴルフ会員権評価損	1
特別損失合計	460
税金等調整前四半期純損失(△)	△957
法人税、住民税及び事業税	18
過年度法人税等	23
法人税等調整額	194
法人税等合計	236
少数株主利益	0
四半期純損失(△)	△1,194

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△957
減価償却費	156
のれん償却額	25
負ののれん償却額	△37
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2
受取利息及び受取配当金	△94
関係会社整理損	13
長期未払金の増減額(△は減少)	△61
投資有価証券売却損益(△は益)	9
投資有価証券評価損益(△は益)	422
固定資産除売却損益(△は益)	13
ゴルフ会員権評価損	1
売上債権の増減額(△は増加)	914
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7
仕入債務の増減額(△は減少)	△53
未収消費税等の増減額(△は増加)	△48
未収入金の増減額(△は増加)	0
未払費用の増減額(△は減少)	9
退職給付引当金の増減額(△は減少)	63
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△11
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△9
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△132
小計	218
利息及び配当金の受取額	92
法人税等の還付額	17
法人税等の支払額	△621
過年度法人税等の支払額	△25
営業活動によるキャッシュ・フロー	△318
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△35
有価証券の取得による支出	△299
有価証券の売却及び償還による収入	1,014
投資有価証券の取得による支出	△182
投資有価証券の売却及び償還による収入	219
有形固定資産の取得による支出	△196
有形固定資産の売却による収入	1
無形固定資産の取得による支出	△18
保険積立金の積立による支出	△37
保険積立金の解約による収入	8
営業譲受による支出	△899
関係会社整理による支出	△18
その他	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△439

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△225
少数株主への配当金の支払額	△0
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△226
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,019
現金及び現金同等物の期首残高	3,139
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,119

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期第3四半期)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高		4,936 100.0
II 売上原価		3,009 61.0
売上総利益		1,926 39.0
III 販売費及び一般管理費		1,286 26.0
営業利益		640 13.0
IV 営業外収益		
1. 受取利息	80	
2. 受取配当金	53	
3. 投資有価証券売却益	15	
4. 負ののれん償却額	37	
5. その他	6	193 3.9
V 営業外費用		
1. たな卸資産廃棄損	7	
2. たな卸資産評価損	31	
3. 為替差損	28	
4. その他	9	77 1.6
経常利益		755 15.3
VI 特別利益		
1. 貸倒引当金戻入益	2	
2. 適格退職年金制度終了益	29	32 0.7
VII 特別損失		— —
税金等調整前四半期純利益		787 16.0
法人税、住民税及び事業税	292	
法人税等調整額	30	323 6.6
少数株主利益		0 0.0
四半期純利益		464 9.4

## 6. 生産、受注及び販売の状況

### (1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
ハンドラ (百万円)	1,705
テスト (百万円)	1,025
パーツ等 (百万円)	894
合計 (百万円)	3,625

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### (2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間の受注実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	受注高	受注残高
ハンドラ (百万円)	1,553	128
テスト (百万円)	813	263
パーツ等 (百万円)	822	64
合計 (百万円)	3,189	456

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### (3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
ハンドラ (百万円)	1,881
テスト (百万円)	1,060
パーツ等 (百万円)	880
合計 (百万円)	3,822

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)
RENESAS SEMICONDUCTOR (KEDAH) SDN. BHD.	502	13.1